

2010年度決算説明会

中期経営計画(2010~2012年度)

「ステージアップ2012 - 新たなる挑戦 -」の進捗

—— 2011年5月17日(火) ——

宇部興産株式会社

説明内容

1 2010年度決算と2011年度業績予想

中期経営計画(2010～2012年度)

2 「ステージアップ2012 -新たなる挑戦-」の進捗

1. 持続的成長を可能にする収益基盤の確立
2. 財務構造改革の継続
3. 地球環境問題への対応と貢献

3 参考資料

2010年度決算と2011年度業績予想

◎アジアでの旺盛な需要を取り込み、大幅増収増益

(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	差異	要因
売上高	5,495	6,160	665	販売数量増、 化学製品売価上昇 ほか
営業利益	275	443	167	販売数量増、 CPLスプレッド改善 ほか
経常利益	189	391	201	金融収支・持分法投資損益 改善 ほか
当期純利益	82	172	90	アルミホイール事業撤退
純有利子負債	2,440	2,110	△ 330	
自己資本	1,788	1,870	81	
配当(円/株)	4.0	5.0	1.0	



'10年度からのマネジメントアプローチ採用に伴い、
'09年度のセグメント情報も組替えております。

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	'09年度	'10年度	差異	'09年度	'10年度	差異
化成品・樹脂	1,650	2,045	394	47	200	152
機能品・ファイン	603	687	84	32	87	54
医薬	99	88	△ 11	37	23	△ 14
建設資材	1,883	2,004	120	61	80	19
機械・金属成形	817	834	16	44	17	△ 26
エネルギー・環境	541	591	49	43	40	△ 2
その他	190	268	77	9	11	1
調整額*	△ 293	△ 359	△ 66	△ 1	△ 16	△ 15
計	5,495	6,160	665	275	443	167

* セグメント間消去を含む

(単位: 億円)

項目		'10年度 (A)	'11年度 (B)	差異 (B)-(A)	営業損益 への影響	
為替レート	円/\$	85.7	85.0	△ 0.7	1	
資 材 価 格	(CIF) ナフサ	\$/t	762	1,050	288	△ 55
	(国産)	円/KL	47,500	64,000	16,500	(△ 53)
	ベンゼン (米欧大口向け 契約価格平均)	\$/t	997	1,243	246	△ 82 (△ 73)
	豪州炭 (CIF)	\$/t	120.0	152.1	32.1	△ 66
	円/t	10,287	12,924	2,637	(△ 64)	

()は為替レート変動影響額を含む

◎ 化学製品を中心として需給環境は引き続き堅調
 震災影響を医薬、機械・金属成形の収益改善でカバーし、前期並み利益を維持 (単位：億円)

項目	'10年度	'11年度	差異	要因
売上高	6,160	6,500	340	販売数量増、売価上昇
営業利益	443	440	△ 3	
経常利益	391	380	△ 11	持分法投資利益の減少ほか
当期純利益	172	200	28	特別損益の改善
純有利子負債	2,110	2,180	70	
自己資本	1,870	1,960	90	
配当(円/株)	5.0	5.0	0.0	

● 直接被害は軽微ながら、以下の影響が懸念される。

① サプライチェーン

■ 原材料

MEKO(ファインケミカル): 原料MEKの代替品確保を急ぐ

機械: 電子部品等で調達遅延のリスク

■ 顧客の操業

自動車、電子材料等の本格回復は、年度後半を見込む

② 電力 千葉石油化学工場で夏期の生産調整を実施予定

③ 放射能 顧客からの製品安全証明要求に対応中

《2011年度業績への影響》

営業利益 △27億円を織り込み済み

(参考) 2010年度は特別損失 △7億円を計上

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	'10年度	'11年度	差異	'10年度	'11年度	差異
化成品・樹脂	2,045	2,260	215	200	185	△ 15
機能品・ファイン	687	760	73	87	85	△ 2
医薬	88	115	27	23	40	17
建設資材	2,004	2,035	31	80	80	0
機械・金属成形	834	790	△ 44	17	30	13
エネルギー・環境	591	670	79	40	35	△ 5
その他	268	250	△ 18	11	10	△ 1
調整額*	△ 359	△ 380	△ 21	△ 16	△ 25	△ 9
計	6,160	6,500	340	443	440	△ 3

* セグメント間消去を含む

化成品・樹脂



- **カプロラクタム**：アジアでの旺盛な需要に支えられて、フル生産を継続中
原料ベンゼン価格の動きに対応し引き続きスプレッドの確保を図るとともに、
3極4工場のコスト競争力強化に努め、環境変化へ柔軟に対応してゆく
- **ナイロン樹脂**：自動車用途はわずかに落ち込みがあるものの、食品用包装フィルムは底堅く安定
タイの5万トン新設備のコスト競争力を生かすとともに、高品質、安定供給を基本とする
ブランド力を生かし、高騰する原料カプロラクタム価格の転嫁に努める
- **工業薬品**：アンモニアはカプロラクタムやAN(アクリルニトリル)の好調を背景に需要が強く、市況も回復
国内最大のサプライヤーとしての安定供給力と販売網を生かし、拡販を進める
- **合成ゴム**：タイヤ・非タイヤ(HIPSや履物等)ともに、需要は引き続き旺盛
大きく変動する原料価格に対しスプレッドを維持・拡大中
日本・タイ・中国の3拠点のバランスを効率的にとりつつ、マーケティングを積極展開する

(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度 (中計目標)
売上高	1,650	2,045	2,260	2,210
営業利益	47	200	185	150

機能品・ファイン



- **ポリイミド**：薄型パネル向けフィルム需要に減速感はあるが、国内外で液晶用シェア拡大に取り組む一方で、太陽電池等の新規成長分野への参入と関連製品の市場開発により、ポリイミドチェーンの強化を図る
- **ガス分離膜**：窒素膜需要が回復し、除湿膜も堅調、脱炭酸膜は環境関連用途の伸長を見込む
- **電池材料**：リチウムイオン二次電池の民生用市場拡大に対応しつつ、車載・蓄電等の新市場へも積極展開
電解液は開発力とコスト競争力を強化し、セパレーターは生産能力を増強
2月に設立した宇部マクセル社で無機材料塗布型セパレーターの開発、事業化を推進
- **半導体材料**：LED用途の需要増加に伴い、MO第二工場建設に着手
- **セラミックス**：工作機・再生エネルギー用途ともに需要は堅調に推移し、LED用途も伸長
- **ファインケミカル**：需給逼迫の製品はさらなる値上げに取組み、PUDとタイ・ジオール新工場立上げに注力
AMC、スペインPCD第二期工場建設に着手の一方、DMO、MEGは中国大型プラント向けに技術ライセンス
(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度 (中計目標)
売上高	603	687	760	895
営業利益	32	87	85	140

医薬



- **自社医薬品**：タリオン、カルブロックとも、引き続き数量伸長を見込む
 エフィエントは、欧州・米国に続き、海外各国で販売開始し、徐々に数量は拡大
 日本は第3相試験中
 上市済み3剤の剤形・適応症拡大に向け、パートナー製薬会社の支援を強化

自社開発品	商品名	適応症	パートナー
	タリオン	抗アレルギー剤	販売：田辺三菱製薬(株)
	カルブロック	血圧降下剤	販売：第一三共(株)
	エフィエント	抗血小板剤	販売：米国・イーライリリー社、第一三共(株)

- **受託医薬品**：前期からの期ずれ分を含め、既存品、新規受注原体・中間体の売上拡大を見込む

(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度 (中計目標)
売上高	99	88	115	170
営業利益	37	23	40	80

建設資材

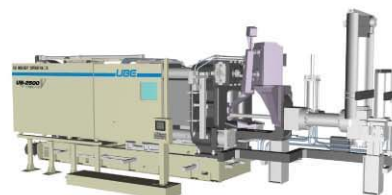


- **セメント・生コン**：官需漸減・民需回復を見込み、セメント内需は前年並みの41百万t内外と想定
被災地復興のための供給体制を整え、需要に対応（震災復興需要は未織り込み）
旺盛な輸出市場を背景に生産設備のフル稼働を目指すとともに、
さらなる合理化推進と適正価格の獲得により、利益体質を維持する
- **資源リサイクル**：廃プラ燃料化、汚泥乾燥等設備を新設の一方、既存設備は維持補修管理を徹底
技術開発・収集力強化にも取組み、着実な収入拡大を目指す
また、震災廃棄物の処理に積極的に取組む
- **カルシア・マグネシア**：鉄鋼向け需要は好調に推移しており、燃料調達コスト増に値上げで対応
- **機能性無機材料**：半導体・家電・自動車市場向け、高純度粉末、モスハイジ（樹脂用フィラー）は
堅調に推移。さらなる伸長に期待しつつ、新商品の開発・上市に継続して取組む

(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度 (中計目標)
売上高	1,883	2,004	2,035	1,950
営業利益	61	80	80	89

機械・金属成形



- **機械**：成形機は、新興国需要で回復基調であり、コストダウンと機能アップを両立した新製品の販売促進により収益力の回復を目指す
産機は、今期売上は堅調ながら、受注環境が厳しいなか、海外鉄鋼・電力向け竖型ミル・運搬機等の受注に注力する
サービス事業は、海外での体制強化と受注拡大を図る
製鋼は、ビレットの東南アジアでの拡販を図る
- **アルミホイール**：自動車市場環境の激変を受け、3月に事業撤退を決定
前期決算で計上した撤退損失の最小化に努める

(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度 (中計目標)
売上高	817	834	790	945
営業利益	44	17	30	58

エネルギー・環境



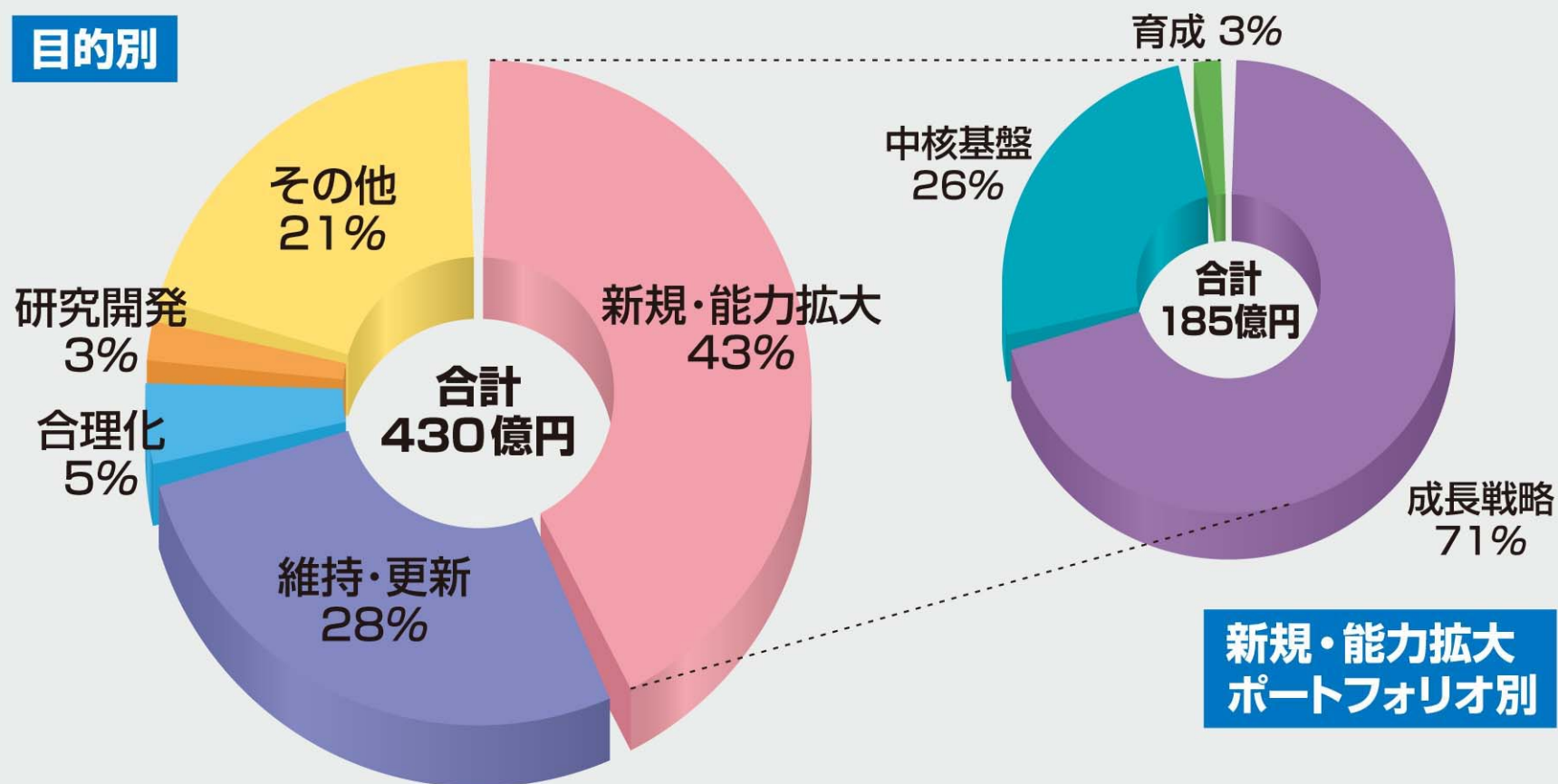
- **石炭**：東日本大震災の影響による一時的な需要低下が懸念されるが、火力発電需要を見込み、新規顧客開拓等で販売炭・預り炭数量の維持・拡大を目指す
石炭価格が大幅に上昇するなか、海上運賃も含め競争力ある価格での調達を実施
コールセンターは貯炭能力拡大効果を生かし、取扱数量増を図るとともに、効率的な運営を行う
地球温暖化問題への対策として、パームカーネルシェル(PKS：椰子核殻)燃料供給事業に取り組む
- **電力**：石炭価格上昇によるコストアップ抑制のため、低品位炭使用拡大とともに、バイオマス混焼も継続
自家発電は余剰電力の外販を積極的に行い、収益改善を図る

(単位：億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度 (中計目標)
売上高	541	591	670	640
営業利益	43	40	35	28

(単位: 億円)

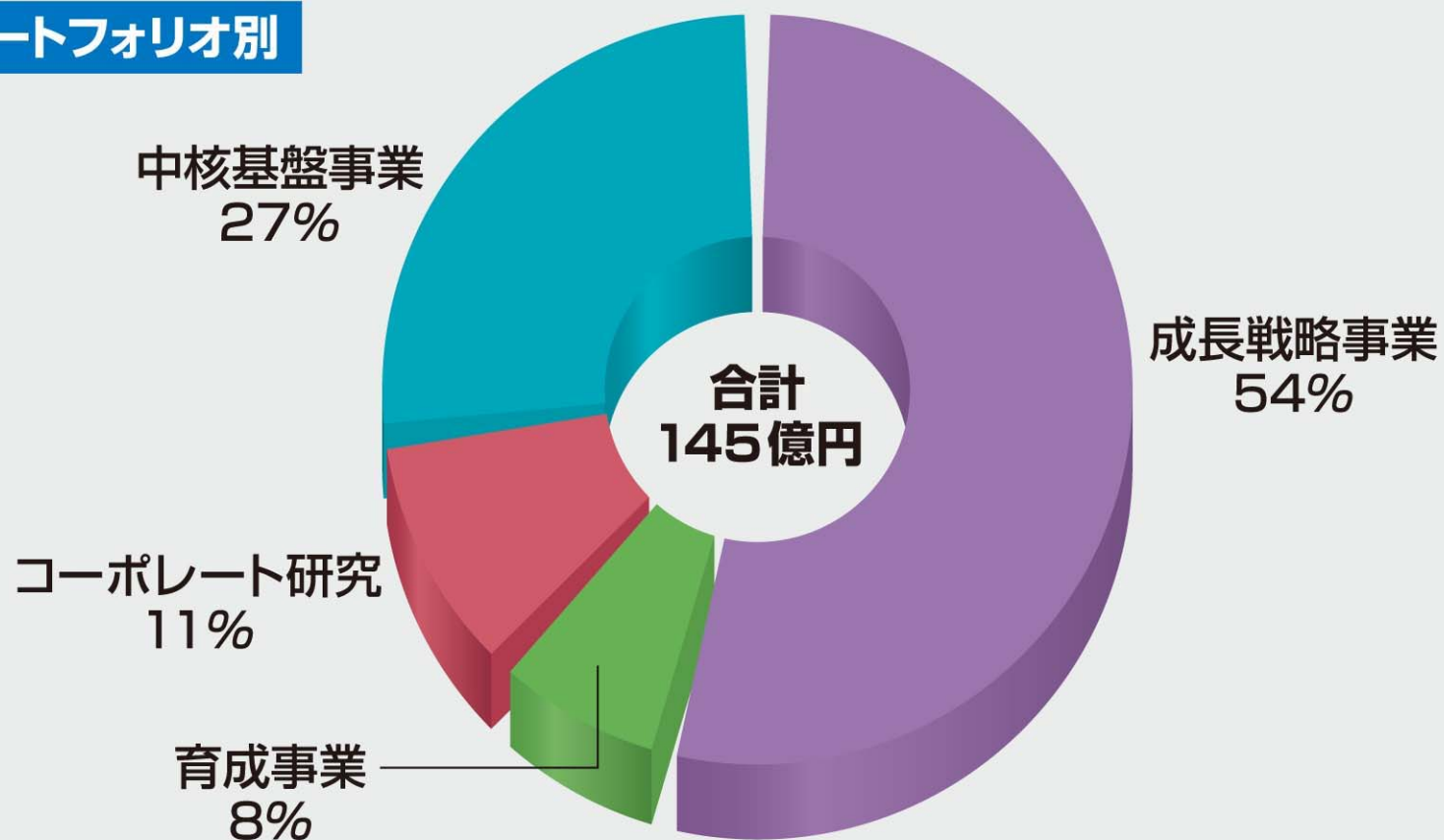
項目	'09年度	'10年度	'11年度	'10~'12年度 (中計計画)
設備投資額	246	353	430	1,080

目的別

(単位:億円)

項目	'09年度	'10年度	'11年度	'10~'12年度 (中計計画)
研究開発費	130	137	145	450

ポートフォリオ別





中期経営計画(2010～2012年度)

「ステージアップ2012 -新たなる挑戦-」の進捗

① 持続的成長を可能にする収益基盤の確立

成長戦略事業と中核基盤事業のバランスを取りながら
事業ポートフォリオの最適化を進め、持続的成長を目指す。

- 医薬、電池材料、ファインケミカルの3事業を成長を牽引する最重点事業として位置付け
- ポリイミドチェーン事業は、確実に成長軌道へ
- 新興国市場のボリュームゾーン展開を見据えた技術・製品開発
- 事業特性に応じた海外展開
- 需要停滞／縮小が見込まれる事業においても、生産体制の再構築、設備の統廃合により、一定の利益を確保





② 財務構造改革の継続

- ネットD/Eレシオ 1倍未満を早期に達成
⇒ A格取得可能な財務体質を実現
- 設備投資・・・引き続き減価償却費相当額に(3年間で)
成長の加速や事業構造の変革のためのアライアンス、M&Aへの取組みは強化
- キャッシュ・フロー重視経営の徹底
在庫管理の強化、物流コスト削減への取組みに加え、
管理間接業務の効率化を推進

③ 地球環境問題への対応と貢献

- 温室効果ガス(GHG)や廃棄物排出量削減、省エネへの取組み強化
- 環境に貢献する技術や製品の創出を促進
⇒ 事業チャンスとして自らの成長の糧に



項目	単位	'09年度 実績	'10年度 実績	'11年度 予想	'12年度 中計目標	'15年度 ターゲット
ネットD/Eレシオ	倍	1.4	1.1	1.1	1.0未満	—
自己資本比率	%	27.3	28.3	28.6	30以上	—
売上高営業利益率	%	5.0	7.2	6.8	7.5以上	8.0以上
総資産事業利益率	%	4.4	7.2	6.8	7.5以上	8.0以上
自己資本当期純利益率	%	4.7	9.4	10.4	12以上	—
売上高	億円	5,495	6,160	6,500	6,700以上	—
営業利益	億円	275	443	440	530以上	700以上
事業利益	億円	293	470	460	550以上	—
純有利子負債	億円	2,440	2,110	2,180	2,200未満	—
自己資本	億円	1,788	1,870	1,960	2,250以上	—
コストダウン(対'09年度)	億円	—	113	190	210以上	—

「ステージアップ2012 - 新たなる挑戦 -」

① 持続的成長を可能にする収益基盤の確立

育成事業

- 航空宇宙材料
- 光関連材料
- 環境関連新材料

成長戦略事業

- 医薬
 - ファインケミカル
 - 機能性無機材料
 - リサイクル
 - 電池材料
 - ポリイミド
 - ガス分離膜
 - 半導体関連・電子材料
- ポリイミド
チェーン

中核基盤事業

- ナイロン樹脂
 - カプロラクタム
 - 工業薬品
 - セメント・生コン
 - カルシア・マグネシア
 - 合成ゴム (ポリエチレン) (ABS)
 - 成形機
 - 産機
 - 製鋼
 - 石炭
 - 電力
- カプロラクタムチェーン

事業撤退

再生事業

- アルミホイール

最重点事業

医薬

▶ ビジネスモデルの確立と成長加速のための基盤づくり

- 原体供給能力の増強により自社医薬・受託医薬とも量的拡大に対応
 - ◆ 第四医薬品製造設備が11月に稼動予定
- 海外戦略グループを新設し、サプライチェーン強化と海外ユーザー開拓を促進
- 自社創薬の推進

電池材料

▶ 合併事業化、電解液のグローバル展開加速など、 車載・蓄電用途への拡大に向けた対応を推進

- 電池材料関連事業を機能電池材料ビジネスユニットに統合
- 先端エナジーマテリアル開発センターを設立し、電池材料の研究開発を強化
- 電解液は欧州での開発拠点設置を端緒にグローバル展開を推進
- 宇部マクセル社で無機材料塗布型セパレーターの開発と事業化を推進
- 生産能力の拡大
 - ◆ 電解液増産設備(建設中)
 - ◆ セパレーター増産設備(7期稼動予定、8期以降も計画・検討中)
- その他関連材料開発を促進し、事業領域を拡大

ファインケミカル

▶ グローバル展開推進と特徴ある製品の強化・拡大

- タイ・ジオール工場の稼動開始
- 環境コーティング材料ビジネスの立上げ
PUD(水性ポリウレタン樹脂)の本格事業化とPCDの増産計画(スペイン他)推進
- AMC(導電性炭素材料)の設備立上、ASM社と「スライドリングマテリアル」事業化推進
- ライセンス事業の推進

ポリイミドチェーン

▶ チェーン全体での事業強化

- フィルムは薄型パネル用途(TAB、COF)に加え、太陽電池基板や自動車用、スマートフォン用の基板材料など新用途にも国内外で拡販
- ワニス等は電子機器向けを含め新規用途の開発を加速
- 生産技術の高度化と設備再編によるコスト競争力の強化
- ガス分離膜は窒素、除湿に加えて脱炭酸用など環境関連分野に注力

将来の成長に向けた取組み

- **機能性無機材料**の拡充
- 育成事業の早期成長戦略事業化

航空宇宙材料**光関連材料****環境関連新材料**

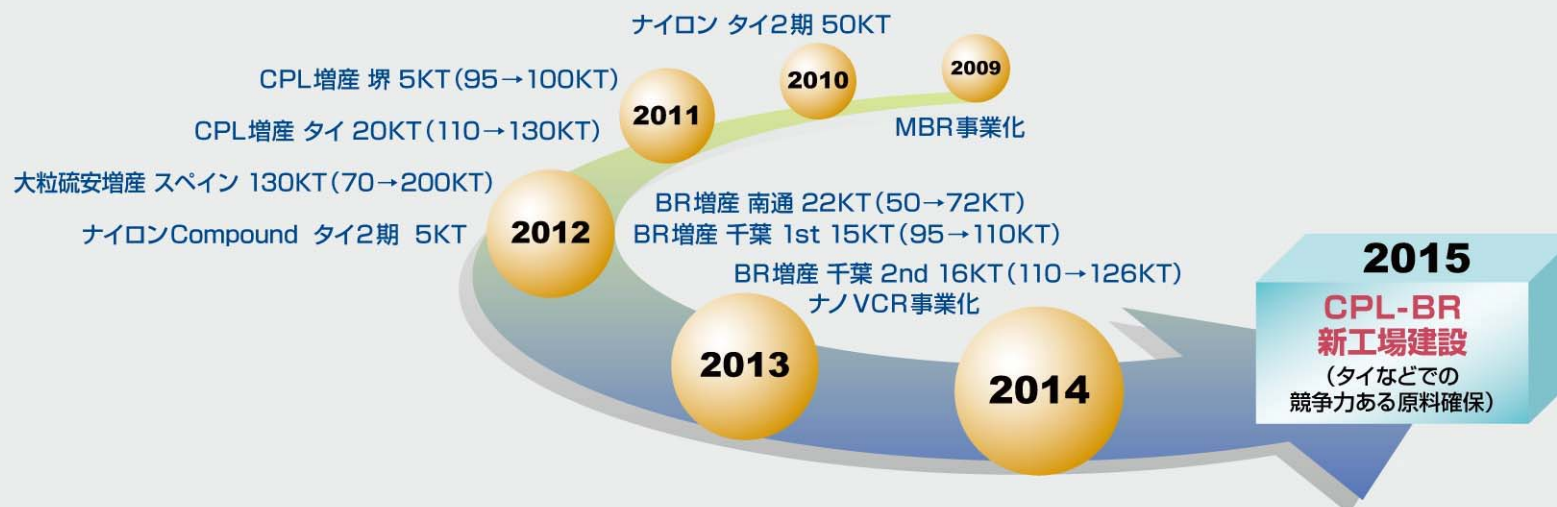
アジア市場での需要拡大が見込まれる事業

カプロラクタムチェーン ▶ 市場プレゼンスの維持・強化

- 需要拡大するアジアでの増産 (CPL: 堺、タイ)
- チェーン全体での高付加価値化 (ナイロンコンパウンド増強、スペイン硫安の大粒化)
- 新興国市場への対応強化 (ブラジル拠点の設置、インド拠点の探索)

合成ゴム ▶ 需要増加に応じた供給体制確立

- 顧客からのさらなる需要への対応 (BR: 中国南通、千葉での増産)
- 製品の差別化
MBR (耐衝撃性の高いポリスチレン改質材)、ナノVCR (低燃費タイヤ用ゴム) など



需要変化に対応し、事業基盤とキャッシュ・フロー創出力の強化を図る事業**セメント・生コン****▶ 厳しい事業環境下での安定的収益確保**

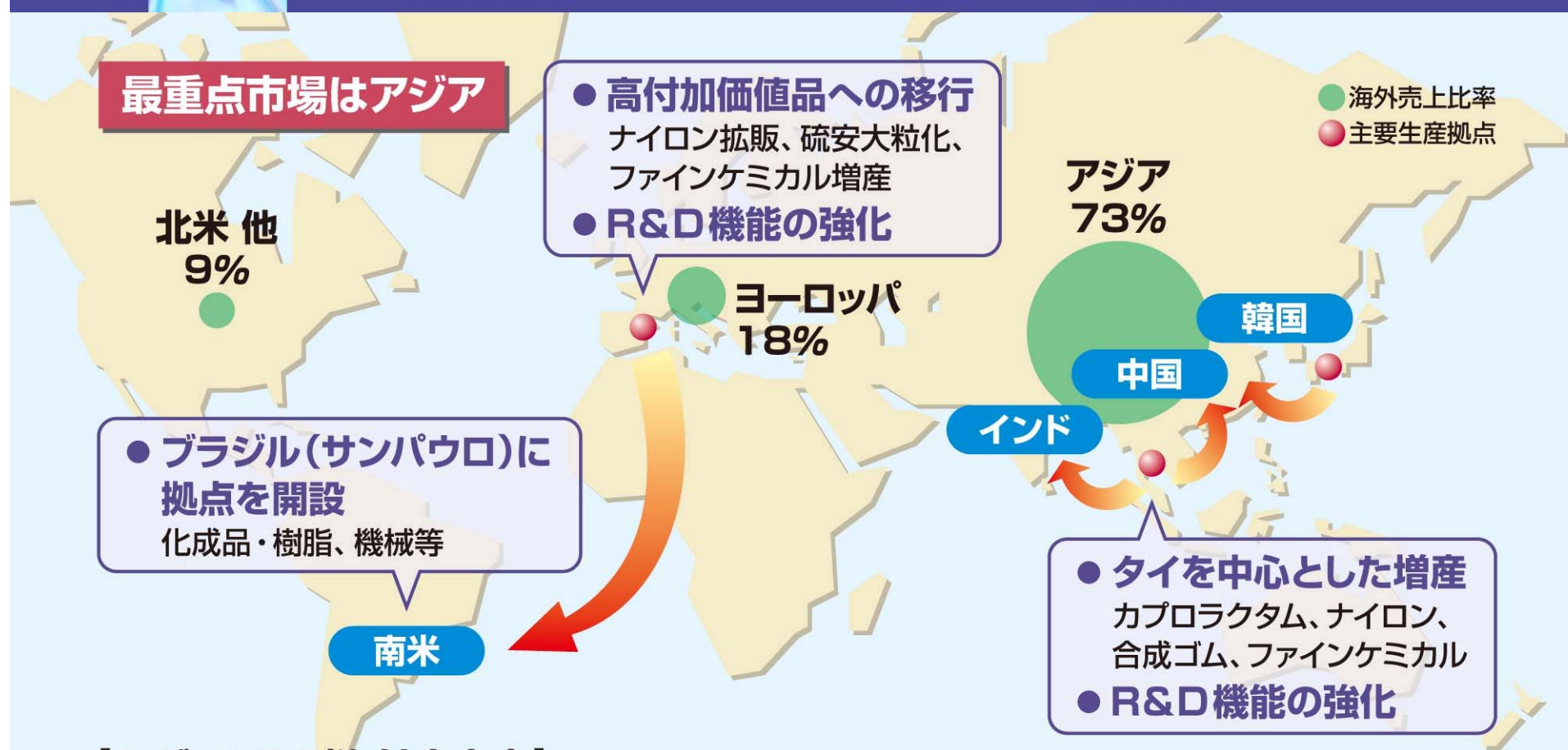
- 事業環境に見合う体制の構築
 - ◆ 運転・定期修理パターンの見直し、物流設備(船舶・出荷基地)の統廃合
 - ◆ 構造改革の推進(人・組織の適正化、生コン工場の集約化)
 - ◆ 内外需要動向に柔軟に対応し、高稼働率を維持
- エネルギーコスト上昇への対応
 - ◆ さらなる合理化コストダウンの追求、適正価格の確保
- 廃棄物処理による収入拡大
 - ◆ 新規処理設備の充実

機 械**▶ 成長する新興国市場への対応**

- グローバル対応力強化とサービス事業の拡充
 - ◆ 市場ニーズに対応した新製品の拡販
 - ◆ 海外調達拡大
 - ◆ 海外サービス網強化(ブラジル、インド)によるアフターサービスとリニューアル需要の取り込み

石炭・電力**▶ エネルギーコスト上昇への対応**

- 低品位炭利用拡大、バイオマス等の利用技術拡充



【セグメント別海外売上高】

(単位：億円)

	化成品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	合計
'10年度実績	1,043	176	10	65	316	0.7	161	1,775
セグメント売上高に占める割合	54.2%	27.2%	12.3%	3.4%	38.4%	0.1%	66.8%	28.8%

案件	場所	完工時期
成長戦略事業		
機能品・ファイン <ul style="list-style-type: none"> ● ジオール工場新設 ● PCD 2期工場 ● 電解液増産設備 ● 機能膜(セパレーター)増産設備 ● 窒化珪素(セラミックス)増産設備 ● MO 第二工場 ● 明和化成 フェノール樹脂第4工場設備 	タイ スペイン 堺 宇部 宇部 宇部	'11/5 '11/12 '11~'14年度 '11/7 '12/3 '12/3 '12/3
医薬 <ul style="list-style-type: none"> ● 第四医薬品製造設備 	宇部	'11/11
建設資材 <ul style="list-style-type: none"> ● 苅田セメント工場 廃プラ燃料化設備 ● 伊佐セメント工場 下水汚泥乾燥設備 	苅田 伊佐	'11/11 '12/12
中核基盤事業		
化成品・樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ● カプロラクタム デボトル増産 ● 硫安 大粒化設備 ● 合成ゴム 特殊品(MBR、ナノVCR)製造設備 ● 合成ゴム 増産 	堺・タイ スペイン 千葉 中国・千葉	'11/4・12 '12/1 '11/2・'12/8 '12/4・10
育成事業		
機能品・ファイン <ul style="list-style-type: none"> ● ヘリオトロピン製造設備 	宇部	検討中



機能膜(セパレーター) 7期製造設備(宇部)



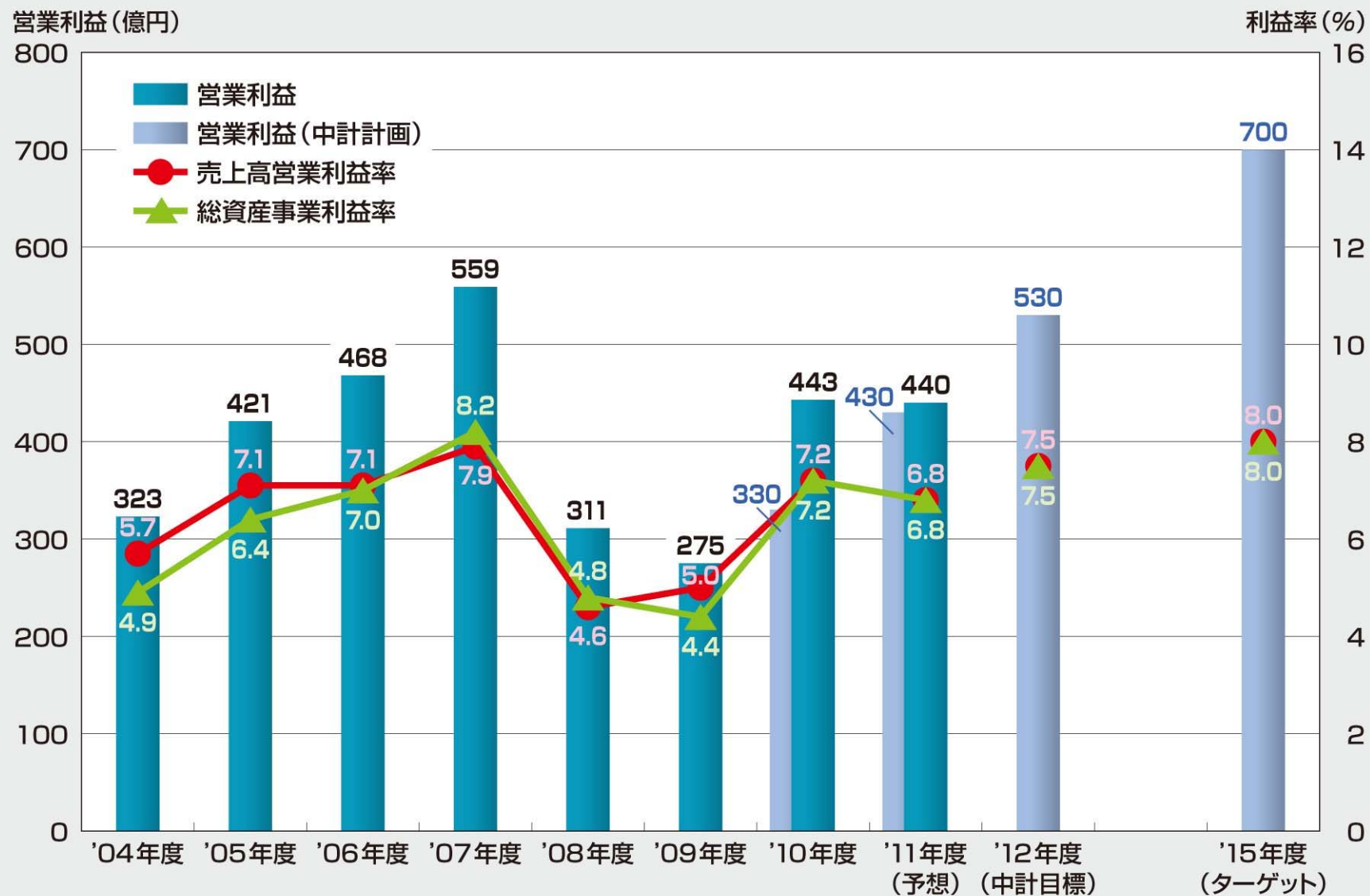
ジオール工場(タイ)

ポリイミドフィルム
10期、11期製造設備(堺)

第四医薬品製造設備(宇部)



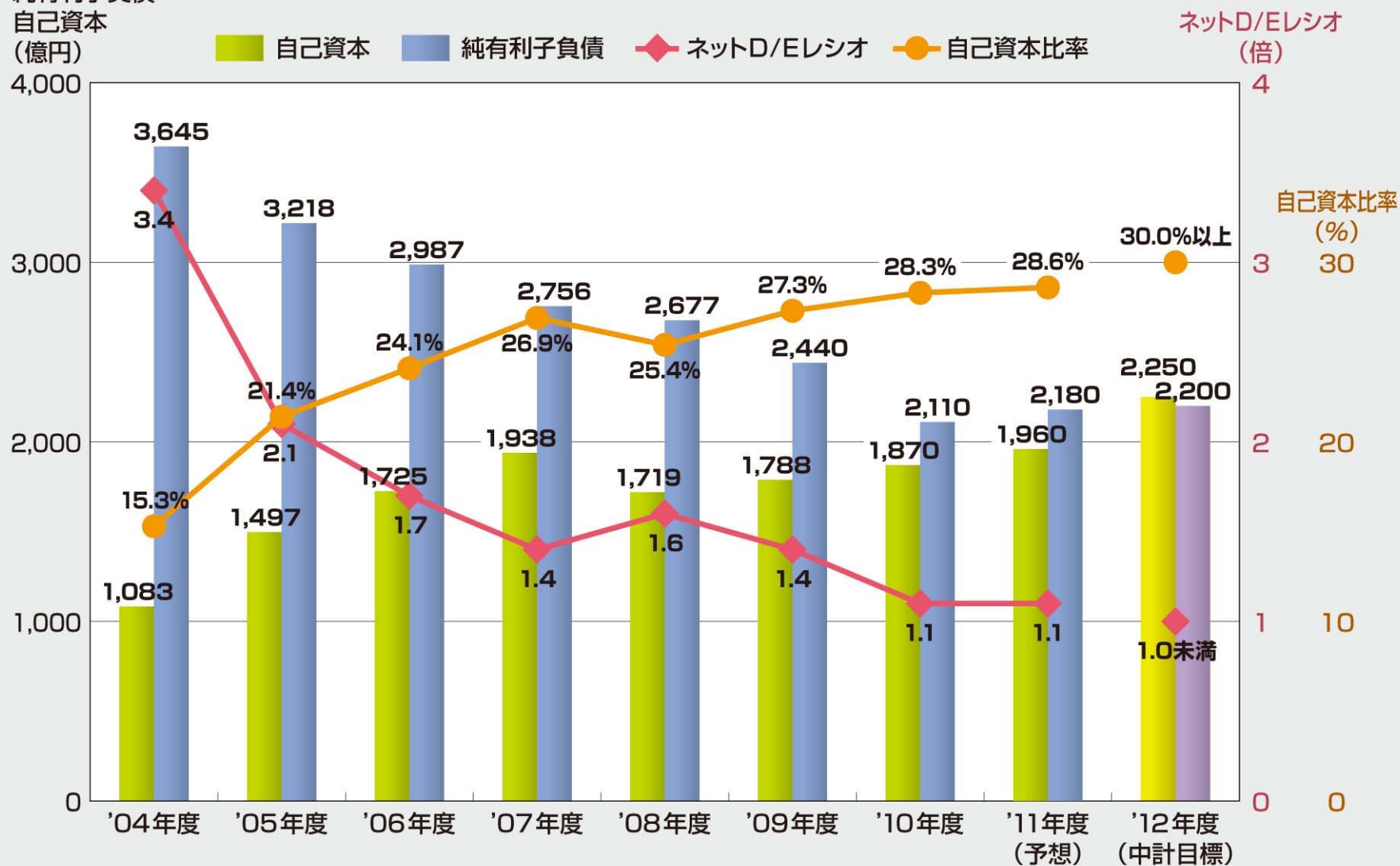
廃プラ燃料化設備(刈田)





「ステージアップ2012 –新たなる挑戦–」
② 財務構造改革の継続

純有利子負債
自己資本
(億円)



(単位：億円)

	'10年度 (実績)	'11年度 (予想)	ステージアップ2012 '10~'12年度累計
営業キャッシュフロー (A)	670	480	1,570
経常利益	391	380	1,035
減価償却費	331	335	1,080
税金支払	△ 48	△ 65	△ 210
その他	△ 4	△ 170	△ 335
投資キャッシュフロー (B)	△ 286	△ 470	△ 1,160
設備投資	△ 353	△ 430	△ 1,080
その他	67	△ 40	△ 80
フリーキャッシュフロー (A+B)	383	10	410
有利子負債削減	△ 197	△ 85	△ 360
配当 他	△ 63	△ 80	△ 170
現金及び現金同等物の増減額	122	△ 155	△ 120

企業価値を向上させ、時価総額の増大を図るとともに
下記方針により株主への還元を

配当方針

業績に対応した配当が基本
一方、株主の中長期的な利益確保を図るうえで、
将来の事業展開のための内部留保の充実も重要
⇒ これらを総合的に勘案して株主配当を決定

本中計期間中は
連結配当性向 20%~25%を目安に
着実な増配を目指す。



「ステージアップ2012 - 新たなる挑戦 -」

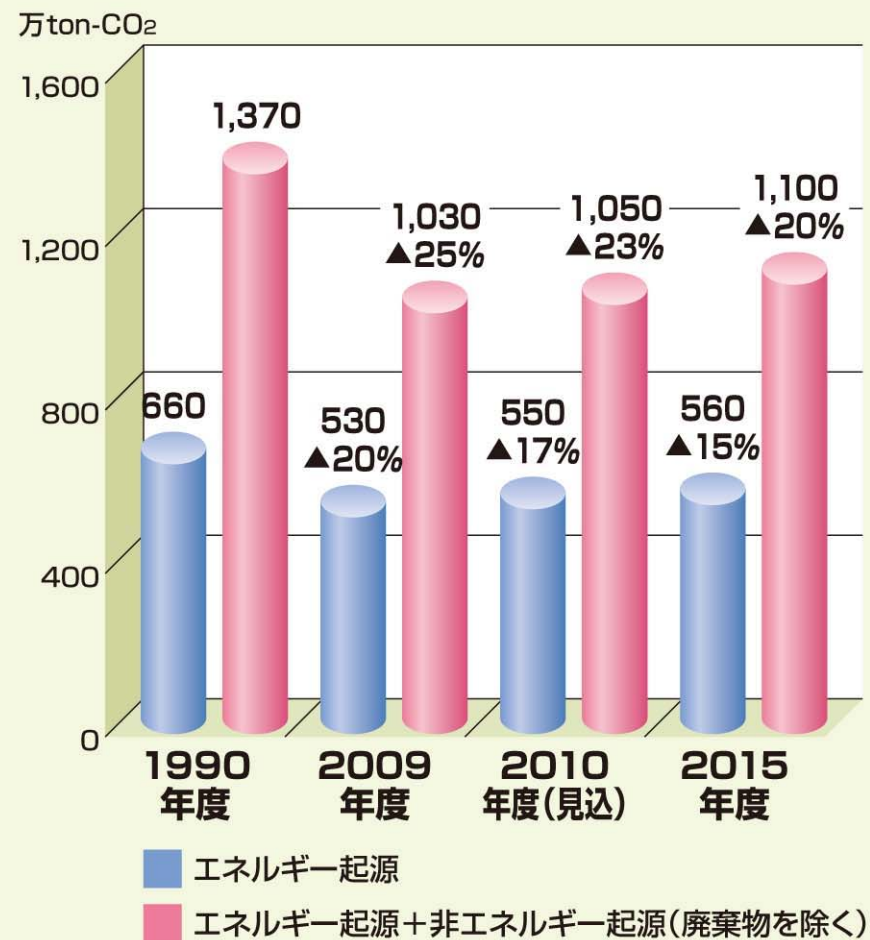
③ 地球環境問題への対応と貢献

- UBEグループ全体で2015年度までにエネルギー起源CO₂排出量を1990年度比15%削減
- CO₂〔エネルギー起源＋非エネルギー起源(廃棄物を除く)〕排出量は2015年度までに1990年度比20%削減を目指す

【2012年度までの取組み】

- 省エネ設備の導入、廃棄物の利用拡大などへの取組みにより、エネルギー起源CO₂排出量を年間約23万トン削減(当初計画：約18万トン削減)
- 2009年度運用開始の「GHG管理システム」で事業所別CO₂排出量を迅速かつ的確に把握
- ライフサイクル・アナリシス(LCA)による、CO₂排出、削減の定量的把握に取り組む

CO₂排出量の推移



UBEグループの技術・製品を通して、地球環境に貢献

次世代エネルギー関連素材・製品

- LIB (電解液、セパレーター)
- 太陽電池 (基板用ポリイミドフィルム、色素増感太陽電池材料など)
- 風力発電 (軸受ボール用窒化珪素)
- 燃料電池 (加湿用ガス分離膜)



省エネ・環境負荷軽減に貢献する素材・技術

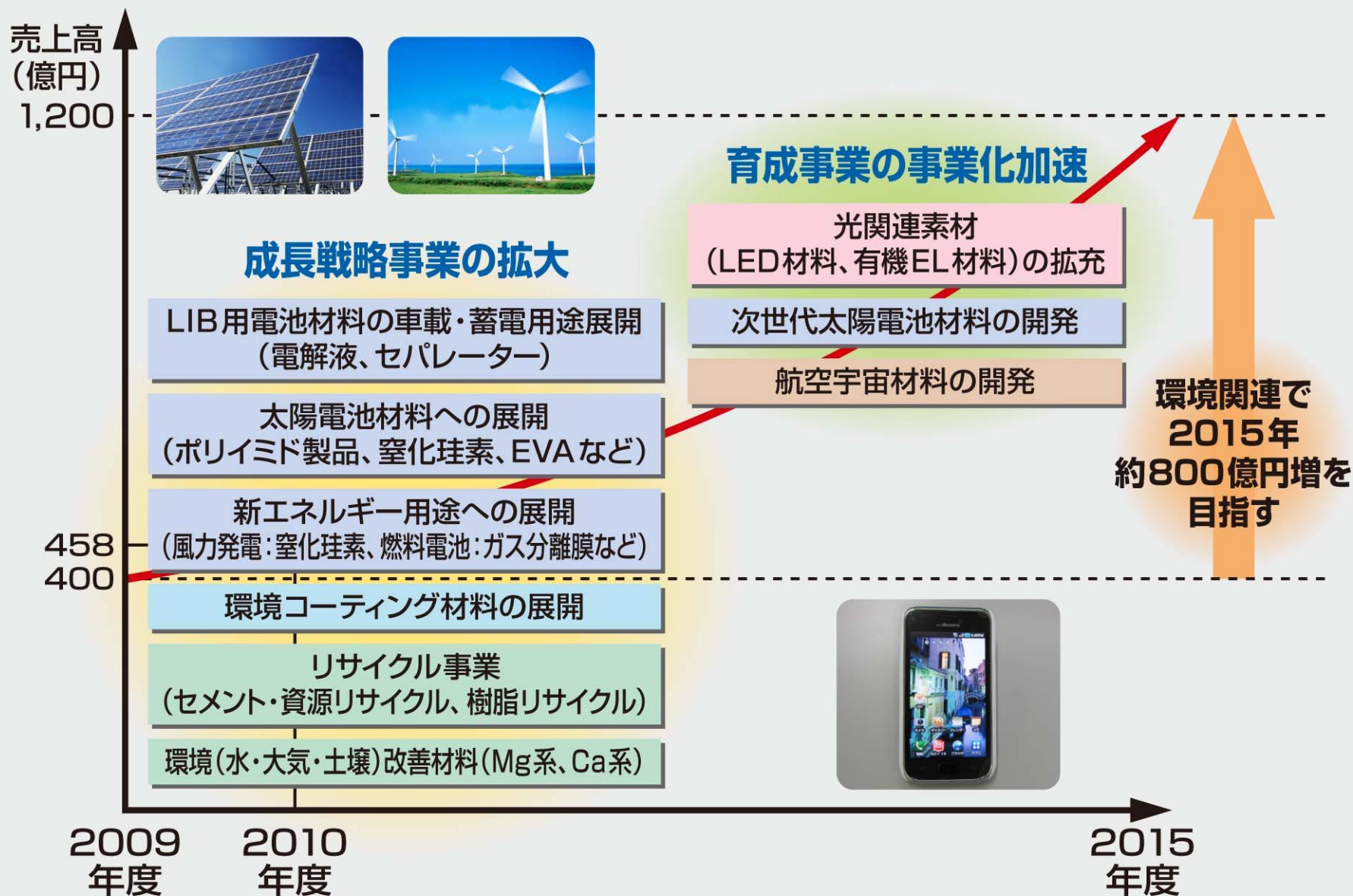


- LED関連材料 (蛍光体材料など)、有機EL材料
- 軽量化・低燃費化部品素材 / 加工技術 (ナイロン樹脂、合成ゴム、成形機、航空宇宙材料)
- VOC低減材料 (環境コーティング材料)

環境改善・保全に貢献する素材・製品・技術

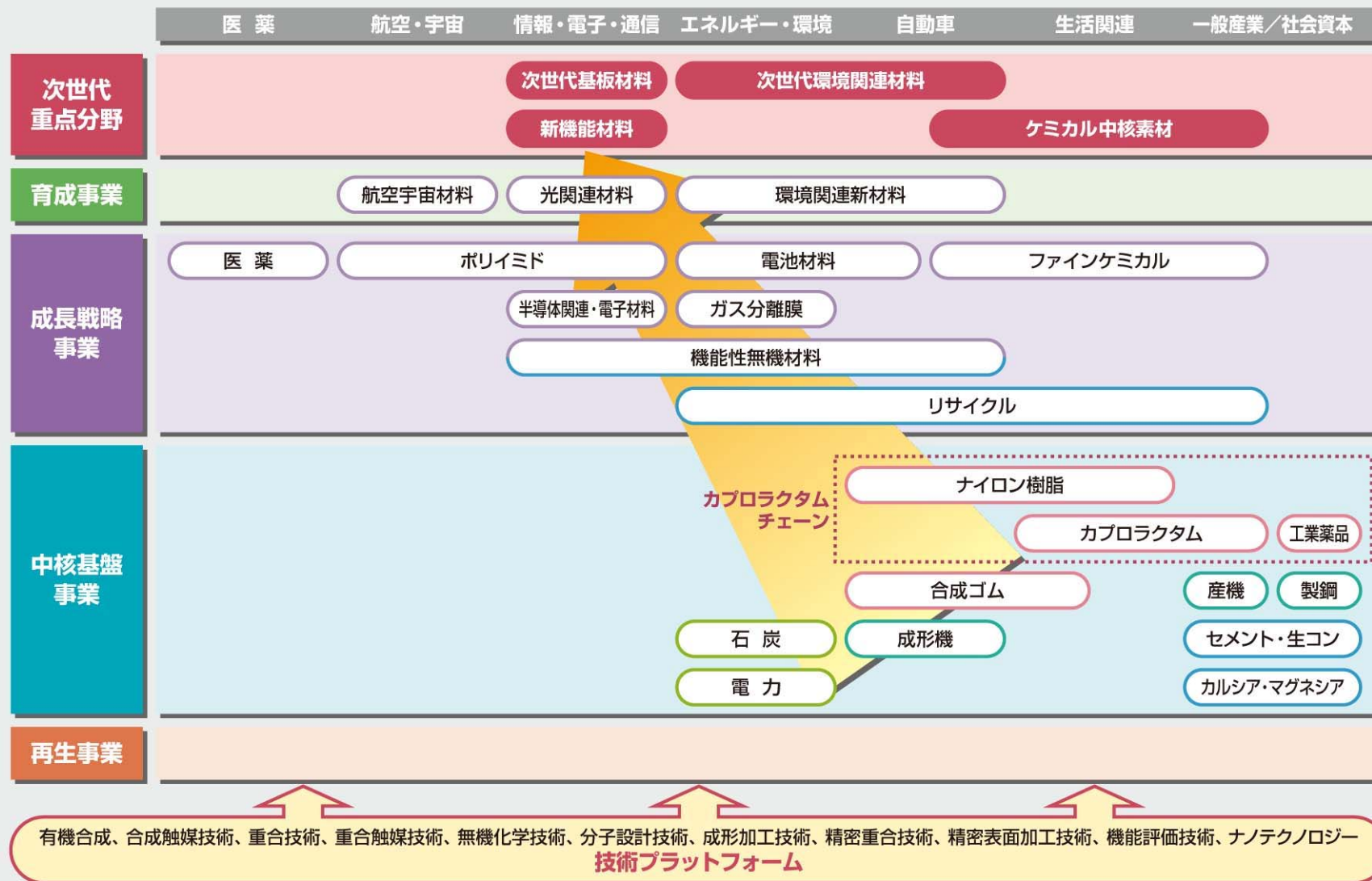
- リサイクル技術 (セメント・資源リサイクル、樹脂リサイクル)
- 香木乱伐による森林破壊を回避する合成香料 (ヘリオフレッシュ®)
- 水・空気・土壌の浄化 (光触媒繊維 アクアソリューション®、マグネシア系環境改善剤、高反応性消石灰)

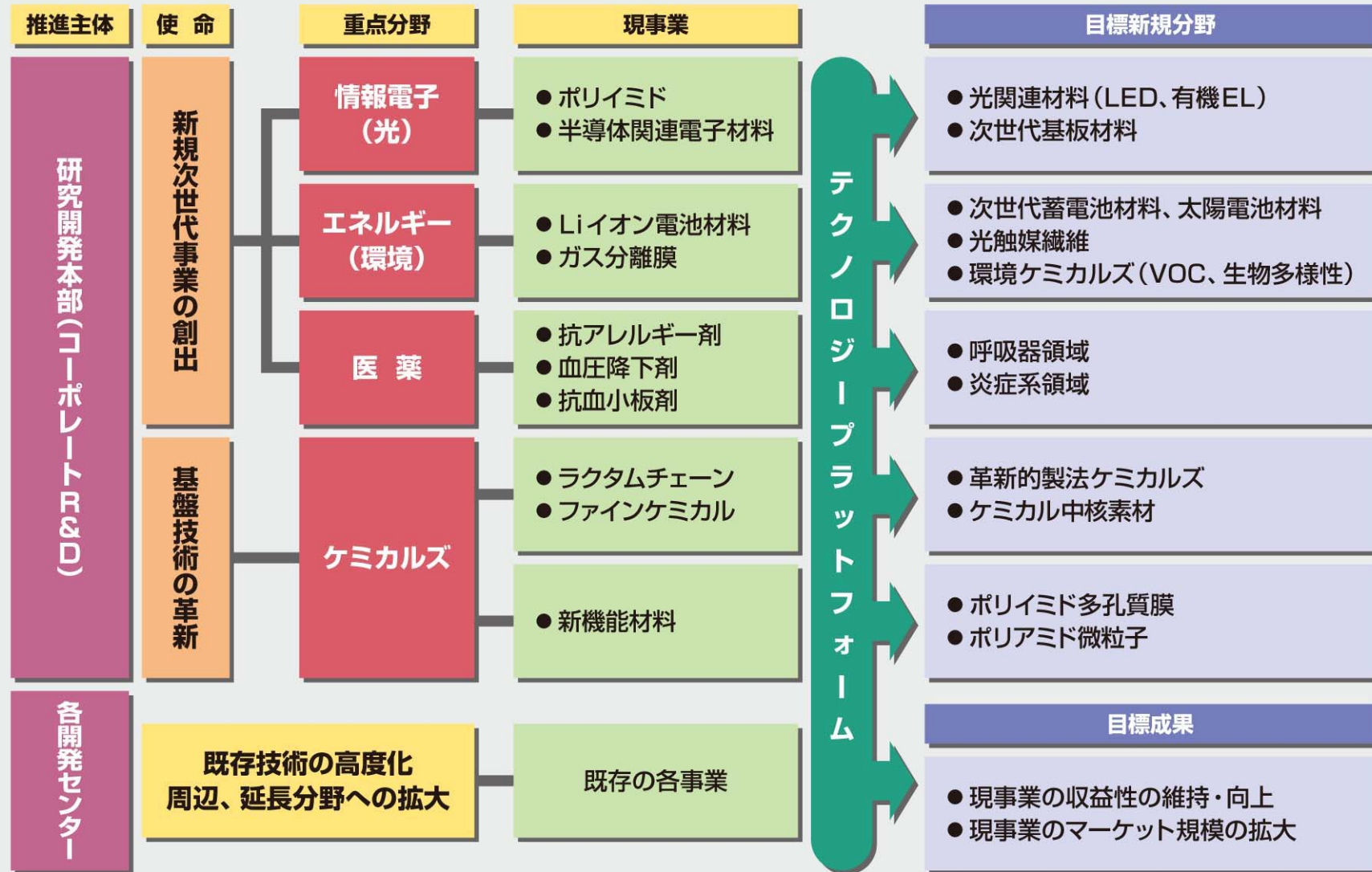






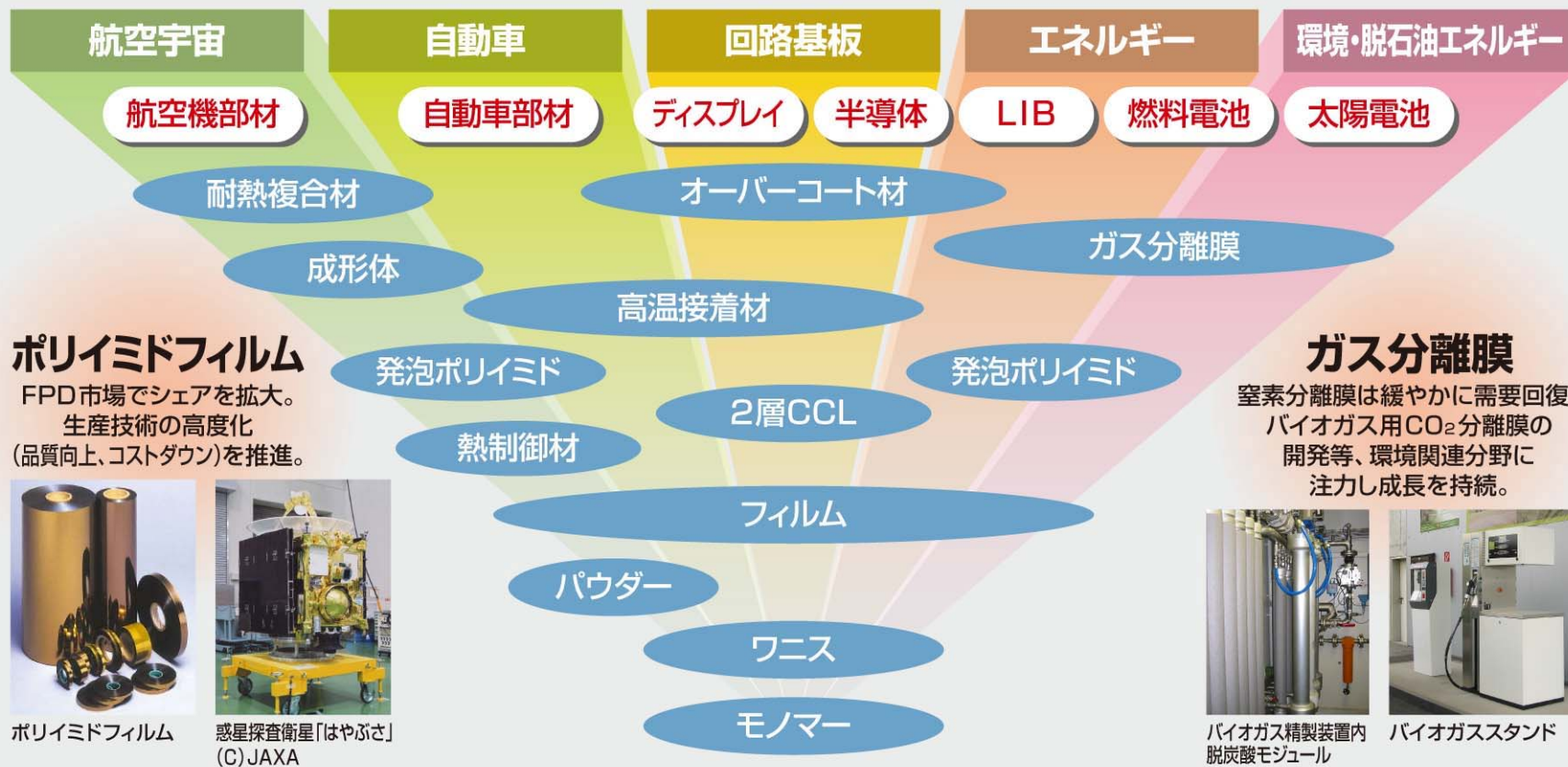
参考資料





〈ポリイミドチェーンの戦略〉

フィルム： 基軸としての回路基板分野 (FPD他)の強化と新規用途展開 (太陽電池基板、自動車部材他)の加速
 関連製品： ワニス、コート材の用途開発とパウダー、成形体、発泡体を含む事業領域の拡大
 ガス分離膜： 窒素膜・除湿膜の基盤強化、エネルギー・環境関連用途の拡大

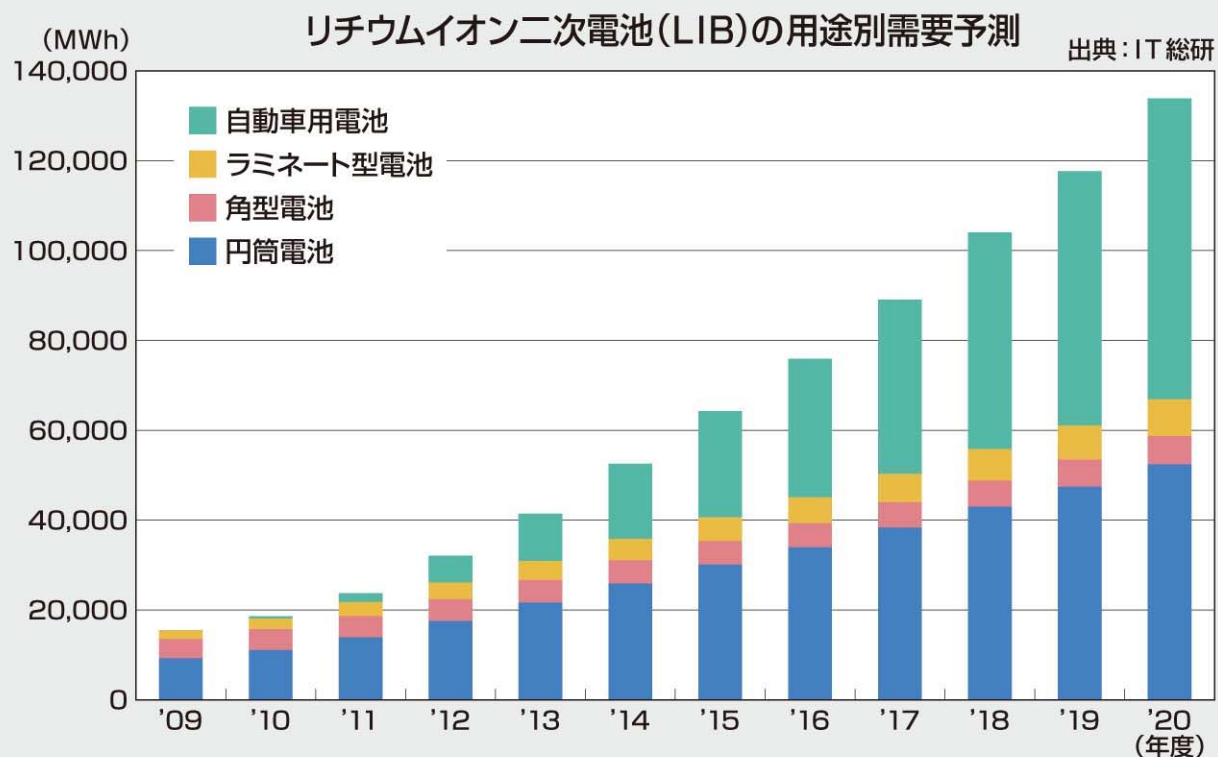




電解液



セパレーター



〈電解液事業の戦略〉

- 高性能電池向けの高機能電解液では技術開発力トップの地位を維持
- コスト競争力の強化とさらなるシェア拡大
- 車載・電力貯蔵LIB電解液の積極的展開

〈セパレーター事業の戦略〉

- 伸長する中国市場におけるデファクトスタンダードの堅持
- 生産技術の高度化と増産設備の立上げ
- 車載・電力貯蔵LIBセパレーター拡販
- 宇部マクセル社での開発促進

〈半導体関連・電子材料事業の戦略〉

シリコン半導体LSIプロセス材料

- ウェハー洗浄液：高純度薬品（硝酸、硫酸、安水）
- アルミ配線エッチングガス：三塩化ホウ素
- 次世代配線、電極材料：各種CVD金属錯体の開発・推進

拡販



シリコン半導体LSI

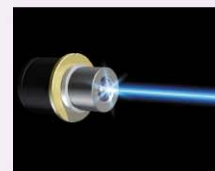
半導体封止材料

- フェノール樹脂（明和化成）

化合物半導体プロセス材料

- 有機金属化合物（MO）
TMG、TEG、TMI、TMA、 CP_2Mg
等は、照明、液晶TVバックライト用
白色LED向けに需要が増加中

拡販



レーザーダイオード



発光ダイオード

太陽電池プロセス材料

- 高純度薬品
- 窒化珪素 等



太陽電池



CD/DVD/ブルーレイ



パソコン



液晶テレビ



携帯電話



信号機

〈ファインケミカル事業の戦略〉

既存事業の強化

- ジオール製品のグローバル展開
 - ◆ タイ・ジオール新工場稼働と新規市場（南米他）の開拓
- DMC 高純度品や誘導体展開によるC1ケミカル事業強化

環境コーティング材料ビジネスの立上げ

- PUD（水性ポリウレタン樹脂）の本格事業化
- PCD増産およびグレード展開の加速

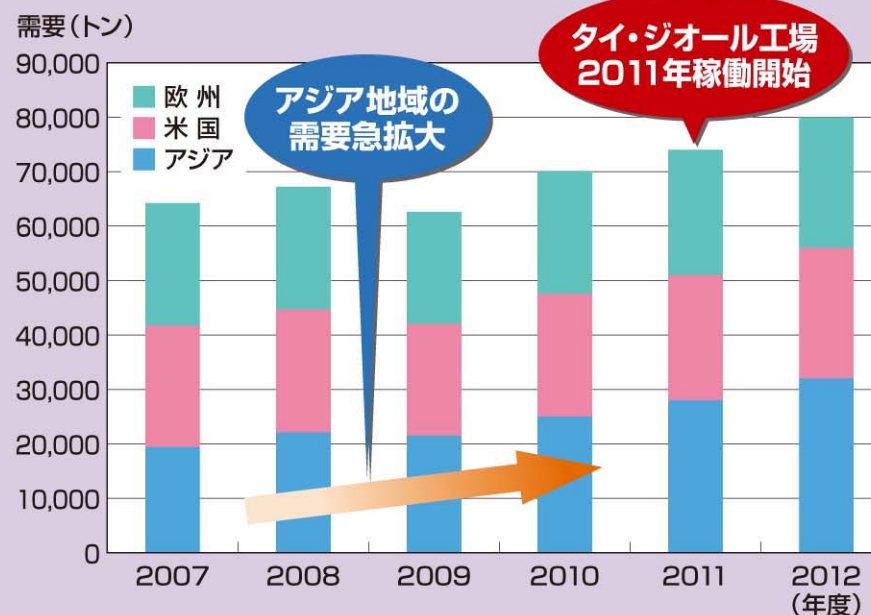
新規ケミカル事業の創出

- ASM社との連携による新規高分子材料「スライドリングマテリアル」の事業化
- AMC事業の立上げ

ライセンス事業の推進

- 石炭からポリエステル原料（MEG）を製造する技術のライセンス展開

ヘキサンジオール（HDL）の世界市場



ポリカーボネートジオール（PCD）を使用したポリウレタンの用途（人工皮革）

〈医薬事業の戦略〉

自社医薬品事業と受託医薬品事業の間のファイヤーウォールを担保した上で、

- 免疫・呼吸器系領域を中心とする自社開発品の創製
- 既存自社医薬品のLCM(ライフサイクルマネジメント)推進
- 設備増強と技術力向上による、新薬原体を中心とする受託の拡大 ⇒ 第四医薬品製造設備を建設中

◆ 自社医薬品の共同開発状況

商品名(開発コード)	適応症	現状(上市地域)	今後の展開
タリオン 一般名: ペボタスチンベシル酸塩 販売: 田辺三菱製薬(株)	抗アレルギー剤 ● アレルギー性鼻炎 ● 蕁麻疹 ● 皮膚疾患に伴うそう痒 ● アレルギー性結膜炎	タリオン錠(日本・韓国) タリオンOD錠(日本) ペブリーブ点眼薬(米国)	● さらなるライフサイクルマネジメント (適応症・製剤追加、新興国市場への地域拡大等)を図る
カルブロック 一般名: アゼルニジピン 販売: 第一三共(株)	血圧降下剤 ● 高血圧症	カルブロック錠(日本) レザルタス配合錠(日本)	● 第一三共(株)オルメサルタン・カルブロックファミリーとして 販売促進
エフィエント 一般名: プラスグレル 販売: 第一三共(株)、 米国・イーライリリー社	抗血小板剤 ● 心筋梗塞、脳梗塞 など	エフィエント錠 (米国・欧州ほか主要国)	● グローバルな国・地域への販売拡大 ● 適応症の追加: 現行のACS-PCIにACS-MMを追加(第3相) ● 国内開発進行中(第3相) 【参考】米国におけるクロピドグレル(プラビックス)の適応症別売上 内訳: ACS-PCI: 23%、ACS-MM: 42% 総売上: 43.5億ドル(2007年)
(DE-104) 共同研究開発: 参天製薬(株)	緑内障治療薬 ● 緑内障、高眼圧症		● 点眼薬としては開発中止

* ACS-PCI: 経皮的冠動脈形成術(PCI)を受けている急性冠症候群(ACS)患者の治療薬 * ACS-MM: 薬剤治療を受けている急性冠症候群(ACS)患者の治療薬

◆ 受託医薬品の状況

営業品

原体/消炎鎮痛剤、降圧薬、抗菌剤 等

中間体/抗脂血症薬、抗癌剤 等

国内外大手製薬会社からの

開発品

抗癌剤、抗血栓薬、糖尿病薬、インフルエンザ薬 等の原体・中間体

新薬大型案件受注が伸長

耐熱構造材料

窒化珪素



高純度セラミックス粉末

カルシウム系粉末



宇部マテリアルズ

マグネシウム系粉末



宇部マテリアルズ

MGC

グループの
横断的技術力

新規分野への展開

光分野

環境(水・大気・土壌)改善分野

情報・半導体分野

チラノ繊維・チラノヘックス



前駆体セラミックス

ハイプレシカ
(真球状シリカ)

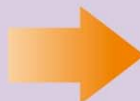
宇部日東化成

ハイセラテック
(透明多孔質コーティング材)

宇部日東化成

〈機能的無機材料事業の戦略〉

UBEグループの連携強化



- 材料技術を結集し、さらに新しい機能を創生
- グローバルな事業展開を推進

■ セメント・資源リサイクル(セメントキルンでの廃棄物処理)

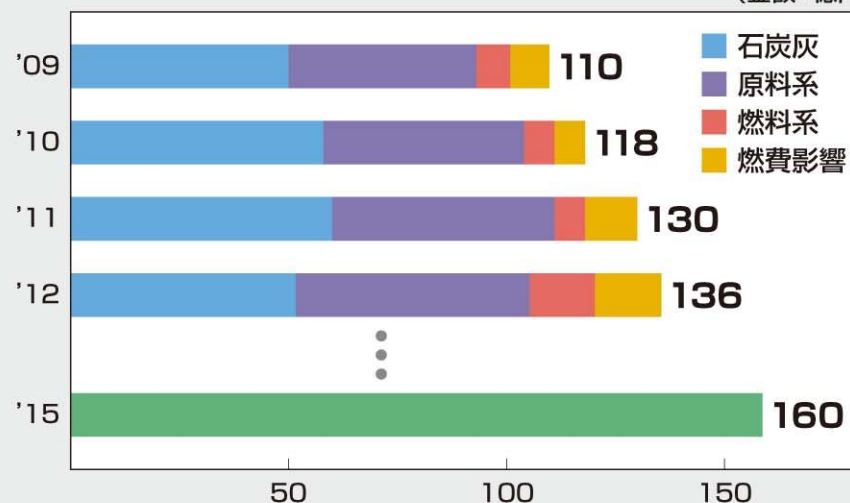
⇒ 再資源化要請も強く、今後も伸長が見込める重要な収益源

(金額: 億円)

〈セメント・資源リサイクル事業の戦略〉

- 処理設備の更なる充実
- 技術開発のスピードアップ
- 収集力強化(燃料系・都市ゴミ灰)
- 新規リサイクル事業の探索・創出

セメントキルンでの廃棄物処理
売上高目標 **160億円**(2015年度)



■ 樹脂リサイクル(調色リサイクル樹脂『UBE-コンポジット[®]』)

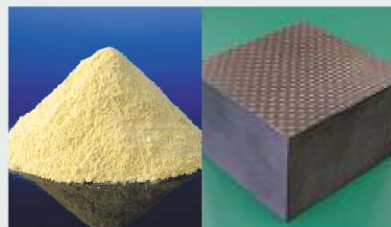
⇒ UBEのコンパウンド技術と調色技術を合わせたオンリー1製品
再生プラスチック需要の高まりに対応

〈樹脂リサイクル事業の戦略〉

- 大手家電メーカーとの取引拡大
- 自動車分野での再生樹脂採用拡大
- グリーン購入法関連製品
(オフィス家具等)への展開

調色リサイクル樹脂
2012年度の販売量目標
12千トン





耐熱コンポジット材料PETI

2009年～2015年
ボーイング共同開発

- エンジンナセル
- パイロン



発泡ポリイミド

2011年
量産開始

航空機向けに加え
原子発電所・艦船向けにも

- 航空機
エアダクト断熱・遮音
- 原発、艦船
断熱材

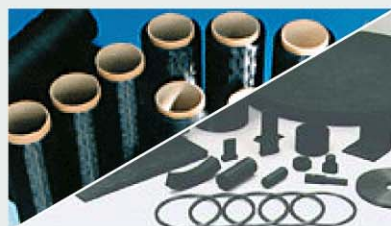
東京電力(株) 柏崎刈羽原子力発電所
(C) 東京電力

熱制御フィルム

JAXA 採用

宇宙用ヒーター
出荷開始へ

- 人工衛星

温室効果ガス
観測技術衛星
「いぶき」
(C) JAXA

チラノ繊維・チラノヘックス

2011年～2013年
実用化試験
→ システム実証

- 次世代商用
ジェットエンジン
- 飛翔体ノズル材



ジェットエンジン



■ 高輝度LED用蛍光体

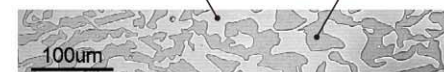
MGC光変換材料

- 用途：LED蛍光体
- 特長：MGC (Melt Growth Composite) という特殊製法のセラミック単結晶複合体に新機能を持たせた新規な白色LED用蛍光体材料で耐久性、耐熱性に優れる



◆ MGC光変換材

YAG:Ce相 (青色光を黄色光に変換)
Al₂O₃相 (青色光を透過)



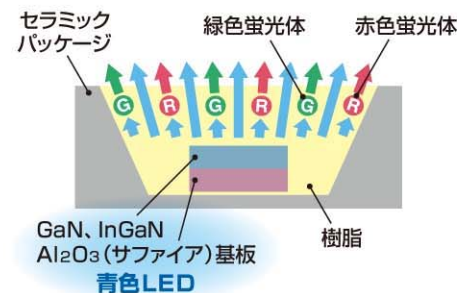
MGC適用例



窒化物蛍光体 (RGB型白色LED)

- 用途：高演色性LED用蛍光体
- 特長：窒化珪素などで培ったUBE独自製法による窒化物蛍光体の新材料で、効率良く光の波長を変換し、低消費電力、長寿命、優れた温度特性を持つ

◆ RGB型白色LED



■ 有機EL用材料

- 用途：有機EL照明分野
- 特長：発光効率の向上と素子の長寿命化を実現する純青燐光関連材料及び周辺材料 (開発中)

ヘリオトロピン

- サッサfras由来の化合物で、香料として安定需要
- ヘリオフレッシュ®に続き、合成による代替に成功



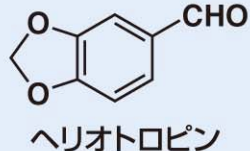
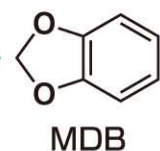
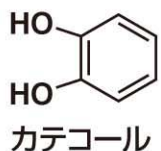
サッサfras

サッサfrasオイル

サフロール

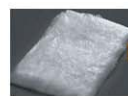
森林保護、供給不安

完全合成法による代替



光触媒繊維 (アクアソリューション®)

- 二酸化チタンの光触媒作用を利用した水浄化
- 水中に存在する細菌や有機不純物に対して高い酸化分解能を持つ



光触媒繊維



アクアソリューション®

PUD (水性ポリウレタン樹脂)

- 水中にポリウレタン樹脂を分散させた、VOC発生が少ない樹脂製品
- 自動車・家電向け塗料、接着剤、インキ向け等で需要が急増

- 技術導入による開発加速
- 競争力のある自社PCDの利用
- グレード開発・技術サービス機能強化
- 自社設備化(2011年1月稼動)

事業拡大で社会へ貢献

市場環境

- 環境規制
- 温暖化問題
- グリーン調達
- 省エネ

PUD市場の拡大
成長率6%、
世界市場20万t
約1,200億円

色素増感太陽電池材料

- 光、熱、溶剤に高い耐久性を持つ色素を開発中

〈ナイロン樹脂事業の戦略〉：事業の筋肉質化

事業環境：ナイロン6：アジア向け需要増加（年3～4%成長）
 ナイロン12：世界で四社寡占のニッチ市場（年3～4%成長）
 打つ手：タイでの増産計画、宇部工場の生産体制再構築、
 コポリマー・コンパウンド等差別化製品増販



ナイロン6製インテークマニホールド

ナイロン6、ナイロン12
 共にアジアNo.1

アジアNo.1

〈カプロラクタム事業の戦略〉：収益の安定化

事業環境：アジアが最大かつ成長市場（年2～3%成長）
 打つ手：スプレッド管理、安価原料確保、
 生産量の最適化、コスト削減

アンモニア生産
 日本一

〈工業薬品事業の戦略〉：事業の再構築

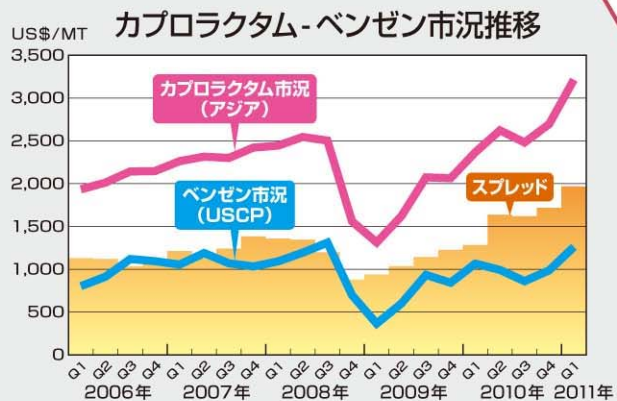
事業環境：液安、硝酸、硫酸、ガス製品は、需要堅調
 打つ手：生産安定化、コストダウン



食品包装用ナイロンフィルム

事業環境
アジア市場
底堅い需要が継続

チェーン事業の
安定収益確保



BU・販売

☆市場戦略・原料調達の見直し

- 市場プレゼンスの維持
- 競争力ある原料の確保
- 副生硫安マーケティング強化
- 合理化、コストダウン ('09年度比 目標100ドル/t)
- 生産能力増強
- 老朽化・環境対策

☆生産・供給体制の整備、再構築

製造・技術・R&D

スプレッド管理

供給体制の維持強化

コストダウン

〈合成ゴム事業の戦略〉

- 製品の差別化および需要に応じた供給体制確立
- 原料ブタジエンの安定確保
- 日本・タイ・中国に次ぐ第4工場の検討

BR(外販)
世界No.3

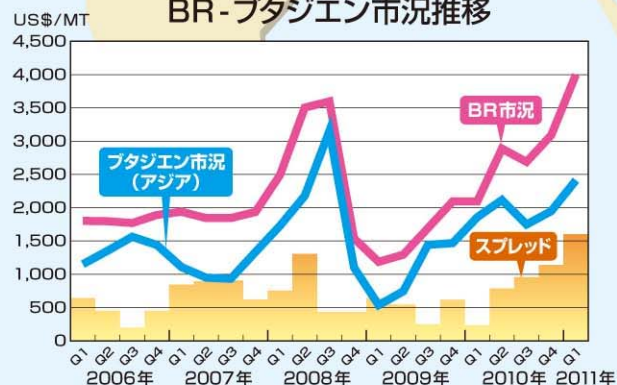
事業環境

- タイヤメーカーの増設を背景とした需要増加
- 省エネタイヤに対応する特殊品のニーズ増加

打つ手

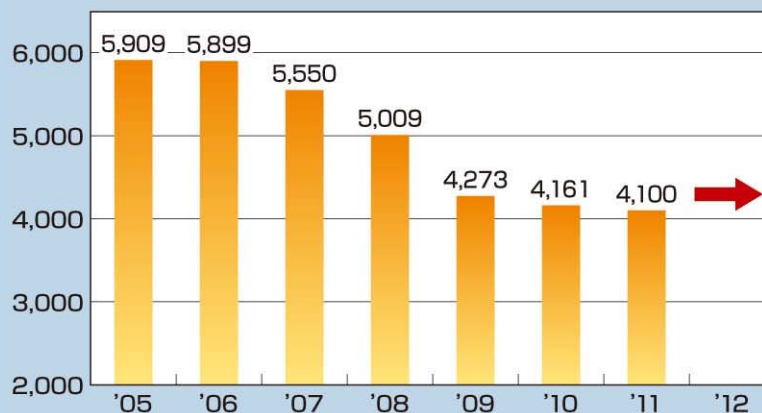
- MBR('11年)、ナノVCR('12年)上市
- BR増産
中国・南通にてデボトル増産('09年50kt→'12年72kt)
千葉にて増産('12年+15kt、'13年+16kt)

BR-ブタジエン市況推移



〈セメント事業の戦略〉

国内セメント需要想定(万トン)



〈生コン事業の戦略〉

徹底した合理化による収益確保

需要減の中、直系工場の生き残りをかけ

- 門構えの適正化による固定費低減
- 合理化・コストダウンの追求
- 適正価格の獲得
- 全生連と協調し、生コン工場の集約化を実施

内需不透明も外需は堅調

エネルギーコストの上昇

安定的収益確保のため、内外需要への柔軟に対応し、
弛まぬ合理化推進と適正価格獲得に取り組む

生産面

- フル稼働体制を維持
- 石炭コストの低減

物流面

- 物流設備の継続的削減
- 被災地復興のための供給体制整備

営業面

- 廃棄物処理設備の充実(3カ年で約50億円投資)
- 価格是正への継続的取組み

〈カルシア・マグネシア事業の戦略〉

宇部マテリアルズ…生石灰業界のトップ企業

マグネシアクリンカー

国内オンリーワン企業

- 基盤事業の収益力強化
- カルシア事業全国展開の継続実施
- 新規市場・新規製品の拡大
酸化マグネシウム、水酸化マグネシウムの
電子材料分野、及び環境対策分野への進出強化

〈機械事業の戦略〉

- グローバル化対応力強化とサービス事業の充実により収益とキャッシュフローの創出をはかる



アンカーハンドリングウインチ(船用機械)



製鋼品



ダイカストマシン(成形機)



縦型ミル(産機)



事業環境

- 自動車産業：新興国の成長は継続
- 新興国・資源国のインフラ投資は継続

打つ手

- 需要増が見込める新興国での成形機拡販(販売人員増強、新商品投入)
- 産機(船用機械含む)、製鋼のアジア地域への事業領域拡大
- インド・ブラジル等新興国の拠点拡充

〈石炭・電力事業の戦略〉

- 競争力のあるエネルギー(石炭・電力)を UBEグループに安定供給
- 安定した収益、キャッシュ・フローの創出
- エネルギー・地球環境問題に対応し、技術開発を推進



沖の山コールセンター



IPP発電所

- 海外拠点
- 石炭調達先

事業環境

- 新興国での需要増大や、世界的な原発政策見直しに伴うエネルギーコスト上昇
- 地球環境問題への対応要請

石炭事業の打つ手

- コールセンターの効率的運用
- 競争力のある価格での調達
- 新規バイオマス燃料利用と、褐炭等低品位炭利用技術開発を推進

電力事業の打つ手

- 低品位炭 使用炭種の拡大と設備対応強化
- バイオマス混焼の推進
- 外販電力の継続

技術の翼 革新の心

Wings of technology
Spirit of innovation

UBE

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もあり得ますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。